

岡山大学と共同研究 ローヤルゼリーの糖尿病予防に期待

血中インスリン値、トリグリセリド値の上昇を抑えることを確認

山田養蜂場は岡山大学 かわさきひろむ 川崎博巳教授との共同研究で、ローヤルゼリーが糖尿病^{※1}予防に期待できることを確認しました。

本研究では、生活習慣に起因するインスリン抵抗性モデルでは糖の習慣的な飲用で上昇するインスリン値、トリグリセリド値をローヤルゼリーが抑えていることが確認できました。

これらの結果からは、ローヤルゼリーが糖尿病の初期段階の重要な症状として知られる高インスリン血症^{※2}、高トリグリセリド血症^{※3}を予防する可能性を示しています。つまり、食生活の乱れにより糖の過剰摂取が習慣化することで発症する糖尿病をローヤルゼリーが予防することが期待されます。

この研究結果は、3月28～30日、宮城県仙台市で開催された第126回日本薬学会で発表されました。

【用語説明】

- ※1) 糖尿病・・・すい臓から分泌されるインスリンは、食後に上昇した血糖値を下げる働きがある。しかし様々な原因によってインスリンの分泌が低下したり、分泌されていても正常に働かなくなると、血糖が高いままになる。その状態を糖尿病という。
- ※2) 高インスリン血症・・・インスリンとは、食後に血糖値が上昇するとすい臓から分泌され、過剰な糖を筋肉や肝臓などに取込んで、血糖値を正常な値に下げる働きをするホルモンのこと。必要以上の糖の摂取が習慣化し、高血糖の状態になると、血糖値を下げようとしてすい臓から血中にインスリンが大量に分泌される。この状態が長期間続くと、血糖値を正常に戻すインスリンの働きが鈍くなり、血糖値が下がらなくなる。そのため、よりインスリンが大量に分泌される“高インスリン血症”になる。
- ※3) 高トリグリセリド血症・・・トリグリセリドとは、中性脂肪のことでエネルギーとして使われ、必要以上のものは肝臓や脂肪組織に蓄えられる。血中脂質量が高い‘高脂血症’は、動脈硬化の引き金となるといわれており、血中の脂質の中でも特にトリグリセリド値が高い疾患。

本件に関するお問い合わせ

株式会社 山田養蜂場 文化広報室 早瀬、畑
〒708-0393 岡山県苫田郡鏡野町市場 194
TEL:0868-54-1906 (月～金 9:00～17:30、土日祝除く)
FAX:0868-54-3346 <http://www.3838.com>